

■福島市農地利用最適化推進委員 推薦・応募状況

○令和8年3月9日締切日現在

推薦・応募者数 43 名

【推薦・応募数内訳】

・福島区域 9 名 (4名)

・北福島区域 10 名 (6名)

・須南区域 6 名 (5名)

・飯坂区域 6 名 (5名)

・松川区域 7 名 (7名)

・信夫区域 4 名 (4名)

・吾妻区域 5 名 (5名)

計 47 名 (36名)

※()内は定数

※複数区域への推薦・応募あり

【目次】

○個人推薦 P.2

○団体推薦 P.3～7

○応募 P.8～10

※推薦・応募状況の掲載内容は、推薦書及び応募用紙に記載された内容のとおりとしています。

■福島市農地利用最適化推進委員 推薦・応募状況【個人推薦】

受付No	被推薦者(推薦を受けた者)								推薦者(推薦した者)							農業委員への推薦・応募の有無		
	(ふりがな)氏名	年齢	性別	職業	経歴			農業経営の状況	推薦区域	氏名	年齢	性別	職業	推薦の理由				
					年月日	内容	農業委員・農地利用最適化推進委員の経歴							認定農業者状況	推薦を受ける者が農業情勢や本市農業の現状を理解しているか		推薦を受ける者が、農地利用最適化推進委員としてどのような活動が期待できるか	
1	てらしま しょういちろう 寺島 正一郎	64	男	農業	S56.4 H18.4 H22.4 H27.4 H31.4	大和工業㈱入社(現在部長) 立子山地区青少年健全育成推進会長(現在) 立子山地区体育協会会長(現在) 福島市消防団第20分団立子山第1部長 福島市消防団第20分団立子山副分団長(現在)	無	非該当	①経営形態	兼業	福島	斎藤 信行	71	男	無職	長年にわたり土木作業に従事し精通しており、遊休農地や耕作放棄地解消の一翼を担うことが期待できる。 また、地区内の農地を広範囲に借り受けて米作りをするなど、地域農業に深く関わっていることから、現在の農業に係る課題等を十分理解している。 現在の農業は、農業者の高齢化が進み、後継者不足や遊休農地、耕作放棄地の増加が深刻化しており、農地の保全や管理が大きな課題であると認識している。これら課題へ対応するため、スマート農業の推進、農地の集積・集約化、高収益作物への転換などが必要であると考えている。	長年、土木作業に従事した経験と知見、更に市消防団第20分団立子山副分団長、立子山地区体育協会会長及び立子山地区青少年健全育成推進会長を務めている経験と人脈を生かした地区住民とのコミュニケーションにより、地域のニーズ等を適時的確に捉え、情報の共有が図られる。 また、地域の農地の状況等の情報収集や各種調査、現状確認を通じて遊休農地の解消やその利用促進等、地域に密着した活動が期待できる。	無
									②耕作面積	田 200 a 畑 - a 所有地 80 a 借地 120 a								
									③従事年数	30年								
									④受託作業	120 a								
2	おの しんじ 小野 真二	70	男	農業	R3~R8	農地利用最適化推進委員(2期)	有	非該当	①経営形態	専業	北福島	小野 義一	80	男	農業	推薦をする小野氏は、農地利用最適化推進委員を2期6年務め、農業の現状について十分に理解している。	今まであげた実績をもとに理解をしていること。	無
									②耕作面積	田 21 a 畑 70 a 所有地 76 a 借地 15 a								
									③従事年数	12年								
									④受託作業	- a								
3	ささき みつひろ 佐々木 光洋	56	男	畜産業・農業	S62 H3~ H4~ -	福島県立福島東高等学校卒業 ベルツリー牧場研修(北海道 十勝3年間) クオリティ牧場研修(カナダ オンタリオ州1年間) 就農 福島市消防団21分団交通部長 佐倉地区体育協会事務局長	有	該当	①経営形態	専業	須南	佐藤 栄一	78	男	農家	第二次世界大戦後、就農した世代が退き、日本の産業が工業国主体に変容し農地事業への後継者不足が叫ばれる中、佐々木光洋氏は、親が起した畜産業を引継ぎ、事業を発展させている。その畜産業をとおして、日本の米価高騰や、食料の国内供給率等の農業情勢については、十分に理解している。 また、地域の人口減少により、年々田畑が減り、荒れ地になってきていることを懸念しており、将来の農地のあり方を見据えた議論が必要なことを理解している。	地域の農地事情を知り尽くしていることから、作付に最適な優良農地のマッチングや、山林付近の農地保全・粗放土地の最適な利活用等の調整・対応役として期待できる。 また、地域内の河川上流域において、メガソーラーの建設・運用が行われており、土砂が泥流となって里に流出してくる事が懸念されている。佐々木光洋氏は、農業用地や地域の地理に精通していることから、監視役として期待できる。	無
									②耕作面積	田 - a 畑 800 a 所有地 200 a 借地 600 a								
									③従事年数	32年								
									④受託作業	- a								
4	さいとう きみお 斎藤 公夫	74	男	農業	39年間高速道路維持管理会社勤務後 農業専業 39年間兼業	有	非該当	①経営形態	専業	吾妻	梅津 紘一	86	男	農業	現在、農地利用最適化推進委員をしている。福島市の農業の現状は心得て理解している。	パトロールを行い、遊休農地など早めに確認的指図ができる。農地が必要な人と貸したい人の仲介を行いたい。	無	
								②耕作面積	田 140 a 畑 10 a 所有地 83 a 借地 110 a									
								③従事年数	48年									
								④受託作業	10 a									
								⑤主な生産品目	水稲		寺島 康浩	64	男	会社員				
								⑤主な生産品目	もも、りんご、米									
								⑤主な生産品目	酪農、牛乳									
								⑤主な生産品目	米									

■福島市農地利用最適化推進委員 推薦・応募状況【団体推薦】

受付No.	被推薦者(推薦を受けた者)							推薦者(推薦した者)					農業委員への推薦・応募の有無				
	氏名	年齢	性別	職業	経歴		農業委員・農地利用最適化推進委員の経歴	認定農業者状況	農業経営の状況	推薦区域	名称・代表氏名	構成員数		構成員資格	設立目的	推薦の理由	
					年月日	内容										推薦を受ける者が農業情勢や本市農業の現状を理解しているか	推薦を受ける者が、農地利用最適化推進委員としてどのような活動が期待できるか
1	たんじ ともてる 丹治 朝輝	63	男	農業	H30.4.1~R8.3.31	田沢農事組合 組合長	無	非該当	①経営形態 自家消費 ②耕作面積 田 30 a 畑 20 a 所有地 - a 借地 - a ③従事年数 15 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 米・野菜	須南	杉妻地区農振会長会 代表 佐藤 利夫	183	JA杉妻地区の正組員及び准組員	ふくしま未来農業協同組合は組合員の協同組織の発展を促進し、もって営農と生活文化の向上につとめ、併せて組合事業の円滑なる推進を図るため組合全地域に農事組合・農振会・支部を設置する。また、組合支店、組合総合支店、地区本部及び本店に協議会等を設置する。	丹治家は代々、田沢地区において農業を行っており、農業情勢や蓬萊地区及び田沢地区の農業の方向性など十分な理解が認められる。	杉妻地区は、田沢、清水町が農業地帯であり、ここで営農するものが最もよく把握しており、この地区の農家農業を代表する活動ができるものと考えられる。	無
2	さいとう ともみ 齋藤 智巳	63	男	農業	R5.3 R5.4~	ふくしま未来農業協同組合退職 農業に従事	無	非該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 - a 畑 60 a 所有地 60 a 借地 - a ③従事年数 3 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 りんご	北福島	ふくしま未来農業協同組合 清水地区農振協議会 会長 白坂 正春	200	清水地区居住の農家	ふくしま未来農業協同組合は組合員の協同組織の発展を促進し、もって営農と生活文化の向上につとめ、併せて組合事業の円滑なる推進を図るため組合全地域に農事組合・農振会・支部を設置する。また、組合支店、組合総合支店、地区本部及び本店に協議会等を設置する。	推薦する齋藤智巳氏は、北沢又地区の果樹栽培において長年の技術習得をしており、技術の継承と品質の向上に努めております。また、齋藤氏は元JA職員であり、農業情勢や福島市の現状について十分に理解しております。	推薦する齋藤智巳氏は、元JA営農指導員として長年にわたり地域農業の現場に携わり、栽培技術の指導や経営改善支援に尽力してこられました。その豊富な経験と専門知識を活かし、関係機関との円滑な連携、調達などにおいて大いに力を発揮されることが期待されます。	無
3	さとう たいち 佐藤 太一	73	男	ふくしま未来農業協同組合	- H24.4.1	福島市笹谷地区体育協会理事 福島市土地改良区栗本地区堰管理者	有	非該当	①経営形態 兼業 ②耕作面積 田 15 a 畑 30 a 所有地 120 a 借地 - a ③従事年数 30 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 りんご、米、モモ	北福島	ふくしま未来農業協同組合 笹谷地区農振協議会 会長 菊池 一雄	238	笹谷地区居住の農家	ふくしま未来農業協同組合は組合員の協同組織の発展を促進し、もって営農と生活文化の向上につとめ、併せて組合事業の円滑なる推進を図るため組合全地域に農事組合・農振会・支部を設置する。また、組合支店、組合総合支店、地区本部及び本店に協議会等を設置する。	推薦する佐藤太一氏は、笹谷地区の米、果樹栽培において、JAに勤務しながら長年の技術習得をしており、技術の継承と品質の向上に努めております。また、佐藤氏はJA職員であるため、農業情勢や福島市の現状について十分に理解しております。	推薦する佐藤太一氏は、現在もJAふくしま未来に勤務しており、農業情勢に精通しているため、地域農業の繁栄に期待できます。また、地域の実情に精通し、公平で誠実な人柄で信頼も厚く、円滑な連絡調整が可能であることから、農地利用最適化推進委員として適任です。	無
4	いとう としひろ 伊藤 敏寛	75	男	農業	S44~ S62~H21 H22~R4 R5~ - -	農業経営開始。以降、専業農家 飯野町議会議員 町内会長 第25期農地利用最適化推進委員(松川地区) 地区社協副会長 NPOヘルパーステーション理事長	有	非該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 - a 畑 50 a 所有地 - a 借地 - a ③従事年数 65 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 きのこと	松川	飯野町農振会 会長 須田 正一	460	飯野地区居住の農家	ふくしま未来農業協同組合は組合員の協同組織の発展を促進し、もって営農と生活文化の向上につとめ、併せて組合事業の円滑なる推進を図るため組合全地域に農事組合・農振会・支部を設置する。また、組合支店、組合総合支店、地区本部及び本店に協議会等を設置する。	推薦をする伊藤氏は専業農家で、根拠からの農業者であり、市の農業の現状と今後の農業のあり方を理解している。	推薦する伊藤氏は50年以上地域農業を行っており、農地のあり方を十分理解しており、今後の推進委員として活動が期待できる。	無
5	せき かつお 関 勝雄	61	男	農業	H31.2 H31.3~ R3.4~ R7.4~ R7.7~	陸上自衛隊を定年退官 農業経営開始 明治中央町内会会長 福島市青少年センター補導委員 飯野地域審議会委員	有	該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 70 a 畑 72 a 所有地 142 a 借地 - a ③従事年数 7 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 肉牛160~180頭	松川	飯野町農振会 会長 須田 正一	460	飯野地区居住の農家	ふくしま未来農業協同組合は組合員の協同組織の発展を促進し、もって営農と生活文化の向上につとめ、併せて組合事業の円滑なる推進を図るため組合全地域に農事組合・農振会・支部を設置する。また、組合支店、組合総合支店、地区本部及び本店に協議会等を設置する。	全国的に農業者の高齢化や担い手不足が進む中、福島市においても同様の課題を抱えています。一方で、本市は果樹栽培を中心とした特色ある農業が展開されており、震災後の安全対策やブランド力向上の取り組みを通じて、農業の再生と発展が進められています。今後は、後継者育成や新規就農者の確保、農産物の付加価値向上を図り、持続可能な地域農業の確立が重要な課題となっています。	地域の農地利用状況を把握し、遊休農地の発生防止や解消に向けた現地確認・所有者への働きかけを行います。また、担い手農家や新規就農者との調整を通じて、農地の集積・集約化を促進し、効率的な農地利用に貢献します。さらに、地域の実情に即した情報共有や相談対応を行い、福島市農業の持続的発展に寄与していきます。	無
6	さくま ゆきお 佐久間 行夫	70	男	農業	H26~ R1~	加藤地区地域資源保全会事務局長 専業農家	有	非該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 300 a 畑 84 a 所有地 140 a 借地 244 a ③従事年数 30 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 水稲、モモ、りんご	須南	佐倉地区農振協議会 会長 渡邊 良平	219	佐倉地区正組員	ふくしま未来農業協同組合は組合員の協同組織の発展を促進し、もって営農と生活文化の向上につとめ、併せて組合事業の円滑なる推進を図るため組合全地域に農事組合・農振会・支部を設置する。また、組合支店、組合総合支店、地区本部及び本店に協議会等を設置する。	推薦する佐久間氏は、令和元年より専業農家として、米作と果樹(もも・りんご)を栽培して、技術を習得し、後継者等に農業技術の継承と向上に努力している。	推薦する佐久間氏は、加藤地区地域資源保全会事務局長および佐倉下の圃地整備組合幹事(施工委員)など、農地利用の最適化で活躍している。また、自身の農業経営においても地域内の耕作放棄地の解消の為に積極的に取り組んでいるので、農地利用最適化推進委員として今後の活躍に期待する。	無

■福島市農地利用最適化推進委員 推薦・応募状況【団体推薦】

受付No.	被推薦者(推薦を受けた者)							推薦者(推薦した者)					農業委員への推薦・応募の有無				
	氏名	年齢	性別	職業	経歴		農業委員・農地利用最適化推進委員の経歴	認定農業者状況	農業経営の状況	推薦区域	名称・代表氏名	構成員数		構成員資格	設立目的	推薦の理由	
					年月日	内容										推薦を受ける者が農業情勢や本市農業の現状を理解しているか	推薦を受ける者が、農地利用最適化推進委員としてどのような活動が期待できるか
7	うめつ しんいち 梅津 信一	58	男	農業	H29～R7.3～R7.4～R8.3	第25期農地利用最適化推進委員(吾妻地区)福島県指導農業者 ふくしま未来農協福島地区桃部会副会長	有	該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 - a 畑 190 a 所有地 140 a 借地 50 a ③従事年数 38 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 梨、モモ	吾妻	庭坂地区活性化委員会 川上 文夫	20	1 総代の代表 2 専門部会の代表 3 農振会長 4 女性部の代表 5 農業青年等の代表 6 組合長及び地区担当常務が特に認められた者	この委員会は、地区組合運営の活性化について、意見集約をはかり、組合運営に反映させるとともに、事業推進の基盤組織として協同活動を強化し、組合の民主的かつ健全な発展を推進することを目的とする。	果樹地帯である福島市で就農人口が減少しているため、遊休農地が増加している。梅津氏は新規就農者が定着するよう相談等に応じ、問題解決に尽力し活動している。以上のことから、福島市の農業の現状について、十分に理解している。	梅津氏は、現在農地利用最適化推進委員を3期務めており、地域の実情を十分理解している。これまでの経験を活かし、遊休農地等の問題解決の活動に期待できる。	無
8	わたなべ おさむ 渡邊 修	48	男	農業	H29～H28～H30～	福島市消防団16分団団員 農業に従事。以降、専業農家 福島市西交番防犯係	無	非該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 - a 畑 200 a 所有地 250 a 借地 - a ③従事年数 9 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 桃、りんご、落花生	須南	吉井田地区農振協議会 会長 油井 健治	189	ふくしま未来農業協同組合は組合員の協同組織の発展を促進し、もって営農と生活文化の向上につとめ、併せて組合事業の円滑なる推進を図るため組合全地域に農事組合・農振会・支部を設置する。また、組合支店、組合総合支店、地区本部及び本店に協議会等を設置する。	推薦する渡邊氏は桃・りんご果樹栽培を中心に、新たに落花生栽培に取り組み、おまさりのブランド化にも努めています。農作物の販売先も、JA共選はもとより、こころ直売所や道の駅ふくしま・個人自動販売所と工夫して販売しており、本市農業の現状についても十分に理解しています。	水田は50a所有し、地区の担い手農家に委託しています。地域計画を進める中で重要な位置にあります。農業委員と協力し、担当地域での農地利用最適化のため、担い手農家への農地利用集積化や耕作放棄地の発生防止・解消に期待できます。吉井田地区の地域づくり(荒川桜づつみ酒づくり協議会)にも協力しており、子供たちへの食農教育や地域活性化にも貢献しています。	無	
9	たかはし よしあき 高橋 義昭	72	男	農業	R1.2 R1.2～R4.1 H29.4～R5～	ふくしま未来農業協同組合退職 湯野地区東部農振会会長 湯野地区防犯協会監査 福島市農地利用最適化推進委員	有	非該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 35 a 畑 41 a 所有地 76 a 借地 - a ③従事年数 33 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 米、桃、桜桃	飯坂	農振協議会 会長 大宮 篤司	1283	ふくしま未来農業協同組合は組合員の協同組織の発展を促進し、もって営農と生活文化の向上につとめ、併せて組合事業の円滑なる推進を図るため組合全地域に農事組合・農振会・支部を設置する。また、組合支店、組合総合支店、地区本部及び本店に協議会等を設置する。	推薦する高橋義昭氏は、令和元年にふくしま未来農業協同組合を退職後、専業農家となりましたが、退職前から農業に従事しており、兼業農家としての期間も長く実績があります。勤務先であった農協の立場での経験からも、栽培技術や農業経営を学んできており、知識も豊富な人材であります。	推薦する高橋義昭氏は、農協勤務中または退職後に農振会会員として、更には組織団体において、代表や役員を歴任され地域のため、農業の発展のために尽力いただいていることから、これまでの経験と実績を活かし、業務遂行にあたっていただけるものと思慮致します。	無	
10	みやしま かずお 宮島 和男	81	男	農業	S46～H19 H23～R2.3	兼業農家として就農 滝ノ沢町内会会計 滝ノ沢町内会会長	無	非該当	①経営形態 兼業 ②耕作面積 田 - a 畑 20 a 所有地 30 a 借地 - a ③従事年数 55 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 桃	飯坂	中野第1・2農振会 会長 篠木 豊	98	ふくしま未来農業協同組合は組合員の協同組織の発展を促進し、もって営農と生活文化の向上につとめ、併せて組合事業の円滑なる推進を図るため組合全地域に農事組合・農振会・支部を設置する。また、組合支店、組合総合支店、地区本部及び本店に協議会等を設置する。	推薦する宮島和男氏は、農業を営みながら建具職人としての仕事もしており、いろいろな業種や年代の方々と交流があり、農業や社会情勢などの現状についても理解されております。	推薦する宮島和男氏は、穏やかな性格であり、新規就農者や農地貸借の話があった場合でも、豊富な人脈と人生経験を活かしながら適切な対応ができるものと思慮致します。	無	
11	さとう しゅういち 佐藤 修一	72	男	農業	S48.3 H23.3 同 R2.7～	北福島農業協同組合入組 新ふくしま農業協同組合退職 専業農家として従事 福島市農地利用最適化推進委員	有	非該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 30 a 畑 38 a 所有地 107 a 借地 18 a ③従事年数 15 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 米、桃、りんご	飯坂	農振協議会 会長 大宮 篤司	1283	ふくしま未来農業協同組合は組合員の協同組織の発展を促進し、もって営農と生活文化の向上につとめ、併せて組合事業の円滑なる推進を図るため組合全地域に農事組合・農振会・支部を設置する。また、組合支店、組合総合支店、地区本部及び本店に協議会等を設置する。	推薦する佐藤修一氏は、本地域農業者からの人望も厚く、農業者からの相談や農業施策の改善に関する意見を傾注し、農地利用最適化推進委員として適正な判断のもと、業務の遂行にあたられ、今後は農地利用最適化推進の方針や改善にも一役を担っていただけるものと考えます。	推薦する佐藤修一氏は、JAの専門部会員及び農振会会員として、更には地域における各組織団体において、代表を歴任され地域のため、農業の発展のためにご尽力いただいていることから、これまでの経験と実績を活かし、活動を継続していただけるものと考えます。	無	
12	あだち しげとし 安達 繁敏	71	男	農業	H27 H28～	NTT東日本本社営業部を退職 農業に従事。以降、専業農家	無	非該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 131 a 畑 21 a 所有地 37 a 借地 15 a ③従事年数 16 年 ④受託作業 35 a ⑤主な生産品目 水稻、梨、野菜	飯坂	農振協議会 会長 大宮 篤司	1283	ふくしま未来農業協同組合は組合員の協同組織の発展を促進し、もって営農と生活文化の向上につとめ、併せて組合事業の円滑なる推進を図るため組合全地域に農事組合・農振会・支部を設置する。また、組合支店、組合総合支店、地区本部及び本店に協議会等を設置する。	推薦する安達繁敏氏は、本地域農業者からの人望も厚く、農業者からの相談や農業施設の改善に関する意見を傾注し、令和7年からは平野地区第7農振会の会長として精力的に活動されております。今後、農地利用最適化推進の方針や改善にも一役を担っていただけると思います。	推薦する安達繁敏氏は、JAの専門部会員及び農振会会長として、更には地域農業の発展のためご尽力いただいていることから、これまでの経験と実績を活かし、活動を継続していただけるものと考えます。	無	

■福島市農地利用最適化推進委員 推薦・応募状況【団体推薦】

受付No.	被推薦者(推薦を受けた者)										推薦者(推薦した者)					農業委員への推薦・応募の有無		
	氏名	年齢	性別	職業	経歴		農業委員・農地利用最適化推進委員の経歴	認定農業者状況	農業経営の状況		推薦区域	名称・代表氏名	構成員数	構成員資格	設立目的		推薦の理由	
					年月日	内容			田	畑							所有地	借地
13	やまだ まこと 山田 誠	74	男	農業	S46～ H14.7.20～H29.7.19 H29.7.20～	農業従事 福島市農業委員 福島市農地利用最適化推進委員	有	該当	①経営形態 ②耕作面積 ③従事年数 ④受託作業 ⑤主な生産品目	専業 田 120 a 畑 20 a 所有地 86 a 借地 54 a 55 年 - a 米、椎茸、舞茸、ヒラタケ、なめこ	飯坂	ふくしま未来農業協同組合 飯坂支店 農振協議会 会長 大宮 篤司	1283	ふくしま未来農業協同組合 飯坂支店管内・正組員	ふくしま未来農業協同組合は組合員の協同組織の発展を促進し、もって営農と生活文化の向上につとめ、併せて組合事業の円滑なる推進を図るため組合全地域に農事組合・農振会・支部を設置する。また、組合支店、組合総合支店、地区本部及び本店に協議会等を設置する。	推薦する山田誠氏は、茂庭地域からの人望も厚く、農業者からの相談や、農業施設の改善に関する意見を傾注し、地域の農業事業にも大変な力を注いでいただいております。農地利用最適化推進の方針や、改善にも一役を担っていただけるものと思慮致します。	推薦する山田誠氏は、農業委員を5期歴任され、適正な判断のもとに業務の遂行にあられました。農地利用最適化推進委員として、これまでの経験と実績を踏まえての活動を継続していただけることに期待しております。	無
14	さとう のりかつ 佐藤 則勝	64	男	農業	H8～ R4～ R3.3.1～ R4.4～ 同 同	農業経営開始(兼業) 専業農家として従事 三極町内会庶務 三極地区農振会長 松川町水原地区交通安全協会役員 松川町水原地区生産組合会計	有	非該当	①経営形態 ②耕作面積 ③従事年数 ④受託作業 ⑤主な生産品目	専業 田 69 a 畑 - a 所有地 69 a 借地 - a 30 年 - a 米	松川	JAふくしま未来 松川地区農振協議会 会長 渡辺 忠雄	681	JA松川地区正組員	ふくしま未来農業協同組合は組合員の協同組織の発展を促進し、もって営農と生活文化の向上につとめ、併せて組合事業の円滑なる推進を図るため組合全地域に農事組合・農振会・支部を設置する。また、組合支店、組合総合支店、地区本部及び本店に協議会等を設置する。	諸物価高騰、農業機材資材も高騰しております。このような農業を取り巻く厳しい環境の中で農業情勢や現状を的確に理解している。	農業従事者の減少が止まりません。少子高齢化の時代が到来し、ますます耕作放棄地が増えると思われる昨今のご時世、農地利用最適化推進委員として農業振興に活動が期待できる佐藤則勝です。	無
15	かたひら よしひろ 片平 善弘	64	男	農業	S59 S63～ H23～	就農開始 31年間、第13分団消防団員(13分団2部の部長も歴任) 福島市りんご研究会会員 農地利用最適化推進委員1期	有	該当	①経営形態 ②耕作面積 ③従事年数 ④受託作業 ⑤主な生産品目	専業 田 - a 畑 360 a 所有地 380 a 借地 - a 42 年 - a モモ・ぶどう・りんご	北福島	余目農振会連絡協議会 会長 佐藤 健彦	150	余目地区居住の農業者	ふくしま未来農業協同組合は組合員の協同組織の発展を促進し、もって営農と生活文化の向上につとめ、併せて組合事業の円滑なる推進を図るため組合全地域に農事組合・農振会・支部を設置する。また、組合支店、組合総合支店、地区本部及び本店に協議会等を設置する。	農業生産者の高齢化、後継者不足が課題とされている中で、遊休農地の増大を少しでも改善されるよう、地域の担い手の育成・指導(果樹の剪定指導)などに積極的に取り組まれています。	農地の効率的な利用と持続可能な農業の実現に向けた重要な役割を担っています。地区の農業従事者の減少や高齢化が進む中で、急激に遊休農地面積が増えている中において、専業農家として土地の有効利用を考え(導)などに積極的に取り組まれています。地域の後継者とも考えを共有し今後の農地有効利用やその意識浸透が図られることが期待できる。	無
16	さとう みえこ 佐藤 美栄子	66	女	有限会社 久米測量設計事務所	令和2年4月1日 S59年～R2.3月末 H7年～	伊達市梁川町より福島市松川町に転入 梁川町で兼業農家(主に米と野菜) 現在の会社勤務歴H7年から現在に至る	有	非該当	①経営形態 ②耕作面積 ③従事年数 ④受託作業 ⑤主な生産品目	兼業 田 - a 畑 - a 所有地 - a 借地 - a - 年 - a	松川	JAふくしま未来農協松川地区農振協議会 会長 渡辺 忠雄	681	JA松川地区正組員	ふくしま未来農業協同組合は組合員の協同組織の発展を促進し、もって営農と生活文化の向上につとめ、併せて組合事業の円滑なる推進を図るため組合全地域に農事組合・農振会・支部を設置する。また、組合支店、組合総合支店、地区本部及び本店に協議会等を設置する。	物価高騰のありを受け、農業資材も日毎に価格高騰し農業経営も厳しくなる一方で、農業に携わり赤字経営だと言いつつも農薬を守っている方々が多く、規模縮小等を迫られることも多々あり。 先の見えない状況の中で農業に携わる方々の努力が感じられるこの頃です。農地に関する規制が厳しすぎて、自由に取捨・耕作出来る状況にないことが荒地・休耕地をもたらしているのではないかと思っています。私自身、自分で食べるものは、自分で作りたい主義で、農地がいつでも誰でも使用することができ、耕作できる状況であれば、栽培することへの楽しみ、楽しみが意欲に変わることにより、耕作面積も増えて行くような気がします。 松川地区は土地改良事業が行われて、整備された農地が広がっており、環境にも恵まれている地域だと思います。 わずかな農地でも使いたい人に使える状況をと考えます。	農地利用最適化推進委員として、何が出来るかは不明ですが、所有者の方々と考えていきたいと思っております。 毎日農地を見て、なぜ荒れた状況で放置されているのか・・・ 花木栽培で、手入れしても土地が合わない。 今の所有者がわからない。山なのに畑になつていない。 相続した人たちは、自分の所有する農地の場所がわからない。 など、わからないことや困っていることなどが沢山あることに気づきました。 活動を通して、私に出来ること何かかわっていきたく思います。	無
17	ながさわ とおる 長澤 徹	50	男	農業生産法人 合同会社 アグリフラワー 福島 代表社員	H27～ R2～現在 R3.3.16～現在 R4年1月11日操業	認定新規就農者にて農業経営開始 以降専業農家 農地利用最適化推進委員 金谷川農作業受託組合役員 合同会社アグリフラワー福島(代表社員)	有	非該当	①経営形態 ②耕作面積 ③従事年数 ④受託作業 ⑤主な生産品目	専業 田 - a 畑 100 a 所有地 - a 借地 100 a 11 年 - a 小菊、花き類	松川	JAふくしま未来農協松川地区農振協議会 会長 渡辺 忠雄	681	JA松川地区正組員	ふくしま未来農業協同組合は組合員の協同組織の発展を促進し、もって営農と生活文化の向上につとめ、併せて組合事業の円滑なる推進を図るため組合全地域に農事組合・農振会・支部を設置する。また、組合支店、組合総合支店、地区本部及び本店に協議会等を設置する。	農業情勢や福島市の農業現状について十分理解しております。	推薦をする長澤徹氏は新規就農者として地域の若者の見本となる農業後継者でもあります。地域における遊休農地、農用地の効率的利用、耕作放棄地の発生防止・解消に尽力されたいと思っております。	無
18	こうの よしろう 河野 善郎	67	男	農業	R6～	専業農家	無	非該当	①経営形態 ②耕作面積 ③従事年数 ④受託作業 ⑤主な生産品目	専業 田 90 a 畑 30 a 所有地 30 a 借地 - a 50 年 - a 水稻	松川	JAふくしま未来農協松川地区農振協議会 会長 渡辺 忠雄	681	JA松川地区正組員	ふくしま未来農業協同組合は組合員の協同組織の発展を促進し、もって営農と生活文化の向上につとめ、併せて組合事業の円滑なる推進を図るため組合全地域に農事組合・農振会・支部を設置する。また、組合支店、組合総合支店、地区本部及び本店に協議会等を設置する。	河野氏は専業農家として、これからも本地域での活躍が期待されます。	河野氏は、中山間地域等直接支払交付金事業の役員として地域活動し、耕作放棄地の発生防止・解消に尽力されております。最適化のための実践活動が期待されます。	無

■福島市農地利用最適化推進委員 推薦・応募状況【団体推薦】

受付No.	被推薦者(推薦を受けた者)								推薦者(推薦した者)					農業委員への推薦・応募の有無				
	氏名	年齢	性別	職業	経歴			農業委員・農地利用最適化推進委員の経歴	認定農業者状況	農業経営の状況	推薦区域	名称・代表氏名	構成員数		構成員資格	設立目的	推薦の理由	
					年月日	内容	推薦を受ける者が農業情勢や本市農業の現状を理解しているか										推薦を受ける者が、農地利用最適化推進委員としてどのような活動が期待できるか	
19	さとう ひろゆき 佐藤 弘幸	67	男	農業	H8～R6.4～R7.3 H18～現在	農業経営開始以降専業農家 ふくしま未来農協戸ノ内農振会長 御前堰水利組合堰管理人	無	非該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 40 a 畑 2 a 所有地 95 a 借地 - a ③従事年数 30 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 米	松川	JAふくしま未来農協松川地区農振協議会 会長 渡辺 忠雄	681	JA松川地区正組員	ふくしま未来農業協同組合は組合員の協同組織の発展を促進し、もって営農と生活文化の向上につとめ、併せて組合事業の円滑なる推進を図るため組合全域に農事組合・農振会・支部を設置する。また、組合支店、組合総合支店、地区本部及び本店に協議会等を設置する。	推薦をする佐藤弘幸氏は、下川崎地域について高齢化等、日々の生産活動をしながら農業の現状を把握しており、福島市の農業情勢を十分理解している。	推薦をする佐藤弘幸氏は、下川崎地域の5年後、10年後の農地として維持するための活動に期待できるし、下川崎地域の地域計画の推進にも寄与できる。	無	
20	すずき のりふみ 鈴木 矩史	37	男	農業	R4.4～R5.3 R5.4～R8.1～	福島県果樹研究所にて研修就農 経営継承	無	非該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 115 a 畑 200 a 所有地 175 a 借地 25 a ③従事年数 3 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 モモ、ナシ、リンゴ、ブドウ、米	吾妻	野田地区活性化委員会 委員長 丹治 正廣	43	総代の代表農振会長 等	この委員会は、地区組合運営の活性化について、意見集約をはかり、組合運営に反映させるとともに、事業推進の基盤組織として協同活動を強化し、組合の民主的かつ健全な発展を推進することを目的とする。	推薦する鈴木氏は、1年間の果樹研究所での研究を終え令和5年4月に就農した当地区若手のホープである。経験年数はまだ若いものの、地元後継者会の役員、ブドウ栽培研究会会員等、積極的な活動を展開している。その活躍の可能性は無限大である。	特に若手の就農者へのアドバイス、相談相手、営農技術等へのアドバイザー的役割に期待できる。地域の実情も理解しており、今後農地の集約化や空き農地への参入等も期待するところである。	無	
21	さとう たかし 佐藤 孝志	68	男	農業		元 農業後継者会会長 元 野田リンゴ研究会会長 元 農振会会長 現 野田地区水利組合役員	無	非該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 70 a 畑 120 a 所有地 200 a 借地 - a ③従事年数 48 年 ④受託作業 10 a ⑤主な生産品目 モモ・梨・りんご・水稻	吾妻	野田地区活性化委員会 委員長 丹治 正廣	43	総代の代表農振会長 等	この委員会は、地区組合運営の活性化について、意見集約をはかり、組合運営に反映させるとともに、事業推進の基盤組織として協同活動を強化し、組合の民主的かつ健全な発展を推進することを目的とする。	推薦する佐藤氏は、就農以来、専業農家として栽培技術の習得に努め、特にりんご栽培では研究会の会長も務めるなど、その道のプロである。また、地域の中心的存在であり、農振会長や水利組合の役員等も歴任するなど、地区の実情も熟知しており、多方面で数多くの活動を展開してきた実績の持ち主である。	地域の実情把握や農業者へのアドバイス、放任園地、耕作放棄地の解消等、多方面での活動が期待できる。	無	
22	さとう てつお 佐藤 哲夫	72	男	農業	H28.4～R7.3 H29年 H31年 R元.5～R5.4	大波地区活性化委員長 福島市農地利用最適化推進委員 福島地区防犯隊 大波地区自治振興協議会副会長	有	非該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 135 a 畑 10 a 所有地 25 a 借地 120 a ③従事年数 56 年 ④受託作業 50 a ⑤主な生産品目 米	福島	大波地区農振会 会長 阿部 光明	281	大波地区町内会会員	ふくしま未来農業協同組合は組合員の協同組織の発展を促進し、もって営農と生活文化の向上につとめ、併せて組合事業の円滑なる推進を図るため組合全域に農事組合・農振会・支部を設置する。また、組合支店、組合総合支店、地区本部及び本店に協議会等を設置する。	高齢者や兼業農家が耕作できなくなった大波地区内の遊休農地を積極的に請け負い、水田の作付けを行っているほか、発生防止に努め耕作放棄地の解消に取り組んでおり、地域の現状を回復させるべく活動をしている。	地域の活性化委員長を長年わたり務め、農業者の意見集約や地域課題の解決に継続的に取り組んでこられ、その経験を活かし、委員として地域農業の進行に大きく寄与することが期待できる。	無	
23	すずき ひろし 鈴木 浩司	64	男	農業	S63～H18.4～H20.3 H26.4～H29.3 H29～	農業経営開始 鳥川小学校父母と教師の会会長 福島市認定農業者会南支部副支部長 農地利用最適化推進委員	有	非該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 106 a 畑 79 a 所有地 141 a 借地 43 a ③従事年数 38 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 米・モモ・りんご	信夫	信夫地区農業委員及び農地利用最適化推進委員推薦協議会 会長 黒澤 武夫	11	JAふくしま未来福島南支店役員及び信夫地区区長会会員	この会は、信夫地区の農業振興と地域の健全な発展に寄与できる農業委員及び農地利用最適化推進委員を推薦することを目的とする。	鈴木氏は、平成29年から農地利用最適化推進委員を務め、福島市の現状や問題を十分に理解している。	鈴木氏は長年農地利用最適化推進委員を務めており、今までの経験を活かし遊休農地の解消に期待ができる。	無	
24	わたなべ たかお 渡邊 隆雄	75	男	農業	S47～H28～ H28～ H29～現在 H30 R5.3～現在	兼業経営 専業農家 小田区衛生部副部長 小田区衛生部部長 農地利用最適化推進委員 福島市民生委員	有	非該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 560 a 畑 42 a 所有地 95 a 借地 527 a ③従事年数 54 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 米	信夫	信夫地区農業委員及び農地利用最適化推進委員推薦協議会 会長 黒澤 武夫	11	JAふくしま未来福島南支店役員及び信夫地区区長会会員	この会は、信夫地区の農業振興と地域の健全な発展に寄与できる農業委員及び農地利用最適化推進委員を推薦することを目的とする。	集会等の状況を見ても、地区の状況を一番熟知しておられる方とっております。	稲作において一番大切な水の問題、いつも彼を頼って皆で相談、状況に応じて能力を発揮していただいております。		

■福島市農地利用最適化推進委員 推薦・応募状況【団体推薦】

受付No.	被推薦者(推薦を受けた者)								推薦者(推薦した者)						農業委員への推薦・応募の有無		
	氏名	年齢	性別	職業	経歴		農業委員・農地利用最適化推進委員の経歴	認定農業者状況	農業経営の状況	推薦区域	名称・代表氏名	構成員数	構成員資格	設立目的		推薦の理由	
					年月日	内容										推薦を受ける者が農業情勢や本市農業の現状を理解しているか	推薦を受ける者が、農地利用最適化推進委員としてどのような活動が期待できるか
25	えんどう やすお 遠藤 康男	67	男	農業	S58～R4～R元.4～3.3 R5～	実家の農家の引継、以降兼業農家現在の専業農家に至る 永井川区第6町会会長職 農地利用最適化推進委員	有	非該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 98 a 畑 - a 所有地 98 a 借地 - a ③従事年数 44 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 水稻	信夫	信夫地区農業委員及び農地利用最適化推進委員推薦協議会 会長 黒澤 武夫	11	JAふくしま未来福島南支店役員及び信夫地区区長会会員	この会は、信夫地区の農業振興と地域の健全な発展に寄与できる農業委員及び農地利用最適化推進委員を推薦することを目的とする。	推薦をする遠藤康夫氏は、国勢調査や農業センサス調査に尽力され、地区内の農業の状況、問題点にも強く関心を持っています。国内外の情勢変化に伴い、農業形態の移行・個々の経営努力にもかかわらず、農業従事者の高齢化、新規就農者や担い手不足と増加傾向にある遊休農地・耕作放棄地、物価高騰による農業収入の減少等の農業を取り巻く実情の厳しさを理解しています。	福島市地域(農地利用最適化推進活動)の三つの活動、すなわち ①農地集積・集約化…農地の賃借の情報収集と利用調整 ②新規参入の促進…新規就農者への相談、農地確保と利用調整 ③遊休農地発生防止解消…遊休農地の情報収集と農地見廻り これらを各委員、行政と密接に連携協力しながら取り組んで行く意見があり、地域経済の活性化につながられると期待します。この小さな活動は、布いては「日本の食文化」「自然環境維持」「生態系保全」を伴う、持続可能な日本の農業の将来につながると信じられるようです。	無
26	おおた のぶお 太田 信夫	69	男	農業	R3.4～R5.4.1～R7.3.31 R7.4.1～現在	NTT-ME退職後、農業経営を本格開始 山田区中部町会長 山田地区環境を守る会会長	無	非該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 144 a 畑 50 a 所有地 194 a 借地 - a ③従事年数 10 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 米・ナス・ホウレンソウなど	信夫	信夫地区農業委員及び農地利用最適化推進委員推薦協議会 会長 黒澤 武夫	11	JAふくしま未来福島南支店役員及び信夫地区区長会会員	この会は、信夫地区の農業振興と地域の健全な発展に寄与できる農業委員及び農地利用最適化推進委員を推薦することを目的とする。	太田氏は、10年前から農業を行っており、福島市の農業の現状、問題について十分に理解している。	太田氏は、信夫地区特に山田地区の農地について詳しいため、遊休農地の解消に期待できる。	無
27	ししど まさひろ 宍戸 正裕	66	男	農業	H12年～R4.4～	農業経営開始 以降専業農家 台古内町会農振会会長職	有	該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 240 a 畑 165 a 所有地 260 a 借地 145 a ③従事年数 26 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 米・花き	須南	荒井農振協議会 協議会長 佐藤 守	255	JA正組合員	ふくしま未来農業協同組合は組合員の協同組織の発展を促進し、もって宮農と生活文化の向上につとめ、併せて組合事業の円滑なる推進を図るため組合全地域に農事組合・農振会・支部を設置する。また、組合支店、組合総合支店、地区本部及び本店に協議会等を設置する。	推薦をする宍戸正裕氏は、農業の指導等に熱心で、現時点においても、台地区はもとより、多地区でも経営等に活躍されており、信頼も厚い。また、自身の農業経営にも積極的に取り組んで、地区の人々を支援し、助けている。農地利用最適化推進にも識見を持っており、委員としての活動に期待できる。	推薦をする宍戸正裕氏は、農業の指導等に熱心で、現時点においても、台地区はもとより、多地区でも経営等に活躍されており、信頼も厚い。また、自身の農業経営にも積極的に取り組んで、地区の人々を支援し、助けている。農地利用最適化推進にも識見を持っており、委員としての活動に期待できる。	無

■福島市農地利用最適化推進委員 推薦・応募状況【応募】

受付No.	応募者								応募区域	応募の理由		農業委員への推薦・応募の有無		
	氏名	年齢	性別	職業	経歴		農業委員・農地利用最適化推進委員の経歴	認定農業者状況		農業経営の状況			農業情勢や本市農業の現状	農地利用最適化推進委員としてどのような活動ができるか
					年月日	内容				①経営形態	非農家			
1	こくぶん こういち 國分 幸一	36	男	野菜卸 カット野菜	H20~H31.3 H31.4~現在	陸上自衛隊 新栄商店	無	非該当	①経営形態 ②耕作面積 ③従事年数 ④受託作業 ⑤主な生産品目	非農家 田 - a 畑 - a 所有地 - a 借地 - a - 年 - a	①北福島 ②福島	生産者の高齢化と後継ぎ問題、長く使われていない農地と今後そうなるであろう農地の活用方法を考え実行。	現在使われていない農地と今後使われない農地が増えることを予想すると、皆様と一緒に活用方法を考えていき、実行に移す。	有
2	さとう かずお 佐藤 和夫	70	男	無職	R4.4.1~R7.3.31 R7.4.1~R8.3.31	佐原地区大平町会会長 佐原地区協議員	無	非該当	①経営形態 ②耕作面積 ③従事年数 ④受託作業 ⑤主な生産品目	非農家 田 - a 畑 - a 所有地 - a 借地 - a - 年 - a	須南	実家は現住所の農家であるが、企業に就職し、転勤や県外勤務が多く、令和3年定年退職を期に両親が他界していることもあり帰郷した。農地もあるため稲作も検討したが、現在農業に従事している方々に状況を聞くと、高齢化は進むも後継者はほとんどない状況で、今後不安を抱えている方が多いことに驚いた。また、耕作放棄地(荒地)も増大して困っているとのことなので、農地利用最適化は急務であると思ひ、何か貢献できればと考え応募した。	今後の農地活用として、あるべき姿(理想)と現状のギャップ(問題)を明確化し、根本的な問題の要因を見つけ、解決改善活動を行い農地利用の最適化に向けた活動に努める。耕作放棄地の活用アイデア創出が急務と思う。	無
3	こいね こういち 小池 光一	78	男	農業	H5~ H20~ H18.4.1~H24.3.31 H23.6~H29.12	農業経営開始 兼業農家 退職、以降 専業農家 日本有機農業研究会幹事 NPO福島県有機農業ネットワーク監事	無	非該当	①経営形態 ②耕作面積 ③従事年数 ④受託作業 ⑤主な生産品目	専業 田 - a 畑 160 a 所有地 160 a 借地 - a 32 年 - a 銀杏、イチジク、 ブルーベリー	福島	私は長年にわたり、安全安心をモットーに経営及び栽培技術に取り組み、持続型循環農業を、全国ネットワークの日本有機農業研究会及び福島県有機農業ネットワークを通じ、県内外へ広めるよう尽力してきました。国の方針として、有機農業の拡大が示される中、福島市における有機農業の占める割合が非常に少ないことに危機の念を抱きます。	農地は単に作物栽培としてだけでなく、降雨時のダムの役割・生物多様性を保つ役割、山里の景観を保つなど多様な役割を担っています。そのような田畑が、農業担い手の高齢化、後継者不足などにより遊休農地が多く見られるようになり、原発事故後、農家の意欲不足も目立っています。原発事故後もまもなく15年となりますが、遊休農地は一向に解消される気配はなく、逆に拡大しているように思われます。農地利用最適化推進委員として、一刻も早い遊休農地の解消に努めたいと思います。	無
4	しぎはら よしひみ 嶋原 芳文	71	男	農業	S62~ - - -	農業経営開始。以降、専業農家 岡部大旦町会班長職3期 農振会会計 納税組合会計	無	該当	①経営形態 ②耕作面積 ③従事年数 ④受託作業 ⑤主な生産品目	専業 田 - a 畑 73 a 所有地 73 a 借地 - a 36 年 - a きゅうり、トマト、 小松菜	①福島 ②北福島	私は福島市の農業の現状について、農業者が高齢で、新規農業者が少ないので、深刻と捉えており、本市農業の推進活動をしていきたいと考えている。	私は農業者であるため、農地利用において農地利用最適化推進委員として、農地利用最適化推進を行いたいと考えている。	無
5	にかいどう まさのり 二階堂 政則	67	男	農業	S52.4~ R3.12 R5.4~ R5.7~	電電公社入社 NTT退職 須賀川診療所 送迎運転 第25期農地利用最適化推進委員(吾妻地区)	有	非該当	①経営形態 ②耕作面積 ③従事年数 ④受託作業 ⑤主な生産品目	自家消費 田 45 a 畑 88 a 所有地 133 a 借地 - a 20 年 - a 米、じゃがいも、 ネギ、きゅうり、 なす、トマト、枝 豆等	吾妻	私は、福島市の農業の現状について、就農する人が減少し、高齢で農業を離れる人が増加することが、荒廃農地の増加につながっていると考えている。新規就農者が、明るい未来を見据えられる農業政策が必要と考える。	私は、庭塚地区の推薦を受けて、第25期農地利用最適化推進委員として活動し、地区内の農地の現状把握、要望に精通している。今後も、遊休農地の解消、農地の集約化に向けて、活動していきたいと考えている。	無

■福島市農地利用最適化推進委員 推薦・応募状況【応募】

受付No.	応募者								応募区域	応募の理由		農業委員への推薦・応募の有無				
	氏名	年齢	性別	職業	経歴			農業経営の状況		農業情勢や本市農業の現状	農地利用最適化推進委員としてどのような活動ができるか					
					年月日	内容	農業委員・農地利用最適化推進委員の経歴									
6	たんじ あきら 丹治 章	76	男	農業	- R5～現在	国土交通省 水門・水位観測操作員 15年従事 第25期農地利用最適化推進委員(福島地区)	有	非該当	①経営形態	自家消費	福島	米価高騰対策や、福島市の特性を活かした農業の推進、特に果樹・野菜等の生産量を増やしていければと考えている。	都市近郊の農業のあり方、進め方について考えていきたい。渡利地区においては、花見山の観光農業を考えていきたい。	無		
									②耕作面積	田					50	a
										畑					20	a
										所有地 借地					70	a
									③従事年数	16					年	
④受託作業	-	a														
⑤主な生産品目	トマト、にんじん、ブロッコリー、米															
7	さいとう ひろみ 齋藤 博実	71	男	農業	H27～現在 R1～R4 R4～現在	農業経営開始。以降、専業農家 JA直売所こころ役員 JA直売所こころ会長	有	該当	①経営形態	専業	福島	福島の農業の現状については、天候不順での収穫の減少、資材等の高騰、農産物の価格低迷等で経営を圧迫している。また、農業の魅力不足により、後継者が少なく、高齢化が進み、野菜・果物の栽培が減少している。反対に、若い後継者や新規就農者は、会社組織にし、人を雇用し、きゅうり、茄子、トマトの栽培が増えている。	私は、JAこころ直売所の会長をしているため、農地の賃借・購入の情報が得やすく、耕作放棄地を減らす事ができると考えています。	無		
									②耕作面積	田					-	a
										畑					45	a
										所有地 借地					7	a
									③従事年数	11					年	
④受託作業	-	a														
⑤主な生産品目	ゴボウ、にんじん、トコロ芋															
8	かしくら かずし 柏倉 一司	65	男	農業協同組合	S59～R1 R2～R8.3 R5～	福島県職員(農林水産部) 本庁各課及び農林事務所等 JA全農福島 御山越町内会 副町内会長	無	非該当	①経営形態	非農家	①飯坂 ②北福島	福島市の2020年基幹的農業従事者の総数は、2010年比で66%となり、県内人口減少よりも著しく早いスピードで減少しており、65才以上も72%を占めている。今後一層、担い手の減少と高齢化が進展すると推察され、農業産出額の減少、耕作放棄地の急増、地域連帯の希薄化など、危機的な状況に陥ることが懸念される。	○当推進委員の役割である日常的な農地の見守りや農家意向の把握、農地の利用調整等に取り組む。 ○県等関係機関・団体の御協力もいただきながら、担当地区の「地域計画」の具現化を図りたい。 ○県等の各種研修情報を踏まえて農業後継(予定)者に受講を勧め、栽培管理能力の向上や経営承継不安の解消を図ることにより、担い手の育成・確保に繋げたい。	無		
									②耕作面積	田					-	a
										畑					-	a
										所有地 借地					-	a
									③従事年数	-					年	
④受託作業	-	a														
⑤主な生産品目																
9	すずき ひろあき 鈴木 弘晃	66	男	農業	R2.3 R2.4～ R7.3～	地方公務員退職 団体職員として稼働しながら農業を開始 団体職員を退職し、農業に専従	無	非該当	①経営形態	自家消費	①福島 ②北福島	私は、福島市の農業の現状では、果樹王国と呼ばれ、桃・梨・リンゴ・ブドウ等の果樹栽培が盛んであり、野菜では、きゅうり、トマト、アスパラ等の生産に加え、米農家にも力を入れ、耕種農業が県内でもトップクラスの農業産出額と聞いています。説明会では、問題点として農業従事者の減少、高齢化及び担い手不足等が現実的な問題点であると話されました。私も切実なことを受け止めておりました。また、農業従事者が減少することによって、今まで使用されていた農地が放置状態となれば、遊休農地の増加につながり、その農地が手入れしないことで、雑草やススキ等の繁殖で荒れ放題となってしまいます。中には、長期間の放置状態から農地にゴミが投げ捨てられる等の廃棄物の投棄も発生してしまう場合もあり、農地所有者だけでなく、地域社会の問題となる可能性も認められると考えております。	私が借りた畑で農業をしておりますと、他の農業従事者の方から、「病気、高齢や担い手不足等を理由に農業を辞める者も多く、農地を手放したことから荒れ放題となり、隣接する農家が病害虫・鳥獣被害で困っているよ。」等の話を聞いています。これらを踏まえ、農地利用最適化推進委員の活動内容には、現地調査、遊休農地の防止・解消及び意見を述べる事ができる等とあるので、福島市の農地利用等の問題点に向き合い、農地活用の取り組みや希望者への利用の促進等を図り、少しでも改善に向け、微力ながら貢献したいと考えております。	無		
									②耕作面積	田					-	a
										畑					10	a
										所有地 借地					-	a
									③従事年数	6					年	
④受託作業	-	a														
⑤主な生産品目	ばれいしょ、きゅうり、なす、トマト、かぼちゃ、ピーマン等															
10	ししど ちゅういち 宍戸 忠一	58	男	農業		道の駅ふくしま生産者協議会役員 23期 北福島地区農業委員 24期 北福島地区推進委員 25期 北福島地区推進委員	有	該当	①経営形態	専業	北福島	福島市の農業の現状については、高齢化、後継者不足、鳥獣害被害の中で耕作をやめていく中で、新規の方、規模の大きい農家に耕作してもらいたいと考えている。	推進委員として一番は現地確認だと思う。自分なりに予定を組み現地を毎月確認している。地区から耕作放棄地を出さない活動をしている。	無		
									②耕作面積	田					-	a
										畑					85	a
										所有地 借地					95	a
									③従事年数	18					年	
④受託作業	-	a														
⑤主な生産品目	梨、りんご、野菜															

■福島市農地利用最適化推進委員 推薦・応募状況【応募】

受付No.	応募者								応募区域	応募の理由		農業委員への推薦・応募の有無	
	氏名	年齢	性別	職業	経歴		農業委員・農地利用最適化推進委員の経歴	認定農業者状況		農業経営の状況			
					年月日	内容				①経営形態	②耕作面積		③従事年数
11	にかいどう かずひろ 二階堂 一宏	68	男	農業	H24年～ H29年～ H29年～ H30年～ H30年～ R4年～ R4年～	農業共済組合矢野目地区共済部長 農地利用最適化推進委員 矢野地区地蔵田町内会会長 農業共済組合北福島方部共済副部長 JA心くしま未来矢野目農振協議会会長 余目地区自治振、余目地区町会連合会監事 矢野目地区町内会連絡協議会監事	有	非該当	①経営形態 専業 ②耕作面積 田 30 a 畑 68 a 所有地 73 a 借地 25 a ③従事年数 43 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 水稲、リンゴ、もも	北福島	農業情勢は、事業継承や家族経営協定による就農、Uターン・Iターンを含めた新規就農者はあるが、既就農者の高齢化や農地の荒廃により農業生産力の低下が懸念される。現在、就農相談や補助金、助成金等が「あぐりっしゅサポート・パッケージ」としてアドバイスと支援を行っているが、広く農家に浸透するに至っていないと思われる。地域計画においても自分自身の問題ととらえている農家は少なくないが、複雑すぎる内容と個別財産案件であることから近々に迫っている問題と捉えていないことが懸念される。	就農者の高齢化や担い手不足等農業を取り巻く環境の悪化による耕作放棄に伴う荒廃農地の増加の改善に向けた農地パトロールの実施や優良農地の集約を目指した提案型対話による啓蒙と啓発活動を行っていききたい。	無
12	かくた みのる 角田 稔	66	男	農業		中学生から父の農家の仕事を手伝い、父親の農業者年金の受給に際し梨・桃・稲作・菊の手伝いに従事し父が他界後は銀行勤務をしながら、自家消費の一人農業に従事。田は農業委員の方にお世話になり譲渡しました。	無	非該当	①経営形態 自家消費 田 - a 畑 0.9 a 所有地 0.9 a 借地 - a ②耕作面積 ③従事年数 40 年 ④受託作業 - a ⑤主な生産品目 玉ねぎ、長ネギ、ナス、きゅうり、白菜、トウモロコシ	福島	・福島は東日本大震災から、作っても売れない価格が安定しない状況が現状であり淘汰されております。 ・後継者不足も謙虚であり、もっと幅広く外部からの農業体験者を増加させる必要性を強く感じます。 ・農家の土地を賃貸借し農家が農業体験をもとに指導し、作る喜びを分かち合うような施策が必要と考えます。	・外部発信を手掛け、広く農業体験を推進し農業体験者の作ったものを道の駅などで販売する。 ・福島県は農地休耕面積が全国トップクラスであり休耕地の情報発信をすることにより、より多くの人に従事してもらう。 ・農業機械の価格は高騰しており、農家をやってみたいと思っている人も農業機械の価格を見たら尻込みする、ランドシエア等の情報発信し協力する施策が必要と考えます。	無